

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	利用者同士の関わりはあるが、その中でたがいの主張が強く、「争い」に発展してしまう事が度々みられる現状である。	大きなトラブルになる前に職員がアンテナを張り、未然に防ぐことが出来るようにする。	職員の観察力、注意力を養うために、お互いに気付いたところは、声を掛け合う。利用者の争いまでに発展しまう根底にあるものを察知できるように日々のコミュニケーションに努める。	6ヶ月
2	23	「本人本位・本人本意」を心掛けているが、希望や意向に添えず不安を抱いている利用者がある。	職員が問題としていることをクローズアップするのではなく、利用者本人が抱えている問題(不安・混乱)を見つけられるようになる。	研修等に積極的に参加し様々な知識を得てケアに活かす。認知症ケアの様々なツールを利用し、利用者の分析や観察をし安心に努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。